

演習説明



令和6年8月27日（火）広島産業会館西展示場 第二展示場
令和6年8月30日（金）福山商工会議所 101会議室

（社福）広島県リハビリテーション協会

特定相談支援事業所ときわ 相談支援専門員
太刀掛 司

本日のプログラム

時間帯	科目	時間（分）	講師
09:00-09:30	受付	30	藤井知佳 （福）大乘福社会 相談支援事業所フロントライン
09:30-09:40	オリエンテーション	10	
09:40-10:30	【講義】	50	太刀掛 司 （福）広島県リハビリテーション協会 相談支援事業所ときわ
	チームアプローチ		
10:30-10:40	休憩	10	
10:40-10:55	セルフチェック	15	
10:55-11:25	アイスブレイク	30	
	インターバル報告		
11:25-12:15	事例・検討	50	
12:15-13:15	昼休憩	60	
13:15-15:15	事例・検討	120	
15:15-15:25	休憩	10	
15:25-16:30	インターバルの整理	65	藤井知佳 （福）大乘福社会 相談支援事業所フロントライン
16:30-16:40	まとめ	10	
16:40-17:05	研修の振り返り	25	

演習のスケジュール

時間帯	科目	時間(分)	内容
10:40-10:55	セルフチェック	15	チェックリストを用いて、自身の業務に照らし合わせながら振り返り ☆演習説明10分 (テキストP219)
10:55-11:25	アイスブレイク	30	アイスブレイク・グラドルールの確認・インターバル報告
	インターバル報告		
11:25-12:15	事例・検討	50	講義を踏まえて事前課題のエコマップ(テキストP208-209)の報告並びに検討。検討の際には、セルフチェックシートのポイントがチームアプローチを展開する際に生かされているか、担当者会議の準備や進め方、関係性の確認、課題について検討。 ※4日目に使用する代表事例を選出
12:15-13:15	昼休憩	60	
13:15-15:15	事例・検討	120	

セルフチェックシート (チームアプローチ) (書式7)

書式7

「チームアプローチ」セルフチェックシート

()内に○印(理解し、実践できている)、△印(理解しているが、実践できていない)、×印(理解していない)を記入してください。

1. チームアプローチの視点と意思決定支援

- ①本人の周囲にいる人々や地域の関係機関を把握することの必要性 ()
- ②本人の意思(本人中心)を尊重しながらチームで支援することの必要性 ()
- ③本人を中心としたチームを構成するための必要な手段 ()
- ④本人を中心としたチームのなかでの自分の役割 ()
- ⑤チームアプローチを通じた新たな社会資源の創出 ()

2. チームアプローチの展開

- ①支援目標の共通理解を得るための会議の実施 ()
- ②支援の経過や本人の満足度、チームアプローチの評価のための会議の実施 ()
- ③危機介入や緊急時の支援体制やリスクマネジメント ()
- ④地域資源(地域のなかにあるあたりまえの資源)の活用方法 ()
- ⑤地域を巻き込んだ支援の検討 ()
- ⑥本人の意思を確認しながらチームでかかわる ()

3. 関係機関との連携(個別支援を中心としたネットワーク)

- ①本人の意思決定支援に重きを置いた会議の必要性 ()
- ②本人を中心とした支援会議の目的と効果 ()
- ③本人を中心とした支援会議を日常的に実施している ()
- ④本人を中心とした支援会議の自分の役割 ()
- ⑤ネットワークを通じた社会資源の活用 ()
- ⑥ネットワークを通じた社会資源の創出 ()

セルフチェック

アイスブレイク

進行FT

自己紹介

①所属

②名前

③

- グラントルールの再確認
- 役割（司会）に関して確認

グラントルール

進行FT

- 他の人の発言に敬意を払いましょう
- 自分の意見にこだわり、議論が同じところで繰り返しにならない様に配慮しましょう
- 発言は長くて90秒と心がけましょう
- 30分に1回は発言しましょう
- 笑顔を大切に、積極的に発言しましょう

時間 (24分)	内容 (6人グループ)
3分	読み込み (※報告者は概ね7分で報告出来るように準備)
7分	報告 チームアプローチにおける支援方針 困っていること /関係性に関して等に焦点を当てる
7分	質問
7分	アイデア出し 困っていること 意見が欲しい事に対して

タイムスケジュール (7人グループ)	
時間	内容
10:55-11:25	アイスブレイク インターバル報告 グランドルールの確認/役割分担
11:25-11:45	実践報告 1人目
11:45-12:05	実践報告 2人目
12:05-13:05	昼休憩
13:05-13:25	実践報告 3人目
13:25-13:45	実践報告 4人目
13:45-13:55	休憩
13:55-14:15	実践報告 5人目
14:15-14:45	実践報告 6人目
14:45-15:05	実践報告 7人目
15:05-15:15	代表事例 選出

時間 (20分)	内容 (7人グループ)
2分	読み込み ※報告者は概ね6分で報告出来るように準備
6分	報告 チームアプローチにおける支援方針 困っていること/関係性に関して等に焦点を当てて
6分	質問
6分	アイデア出し 困っていること 意見が欲しい事に対して

演習の進め方

【報告者のポイント】

事前課題で作成したエコマップ（テキストP208-209）を通して、チーム支援の目標の立て方、多職種連携の役割分担や関係性、チームにおける意思決定支援等、チームアプローチの展開について報告する

用意する書式

- ・ インターバル報告書
- ・ 実践報告書 書式1-② P208-209
- ・ 演習シート（各個人記載）

演習の進め方②

【検討する際のポイント】

- ・ 報告者がチームアプローチの展開に対して困っていることについて対応策を検討する
- ・ 関係機関との連携にあたって共通目標を通して支援が展開されているか
- ・ 多職種との連携にあたり役割分担が出来ているか
- ・ チーム内での支援を展開する中で本人の意思が置き去りにされていないか

※エコマップから見える社会資源と利用者の関係性や利用者を取り巻く環境が社会資源を中心とされているのか地域資源も含まれているのか確認

引用・参考：現任研修テキストP168-169

質問の方法

- ①具体的に確認する
- ②質問・発言の意図を確認する
- ③事例発表者の気づきを促す質問をする
- ④クローズドクエッションが効果的

※質問が出にくい時は報告を受けての感想や事例の印象を述べてから検討にうつる

代表事例の選定

4日目のグループスーパービジョン（GSV）で取り組む事例を選出

選出するポイント

福祉サービスを利用しているが、多くの社会資源を活用する事で生活の質が高められる事例が望ましい

研修の効果を高める観点から避けた方が良い事例

- ・ 健康状態の悪化や虐待事例などの危機介入が必要な事例
- ・ 触法行為を繰り返す等、福祉的な支援を拒否する複雑な事例

引用・参考：現任研修テキストP168-169